

平成22年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

家庭・地域教育課（内線：7519）

1目 社会教育総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
家庭での読書活動支援事業	1,088	1,832	△744				1,088	
トータルコスト	3,508千円（前年度4,318千円）〔正職員：0.3人〕							
主な業務内容	関係先との連絡調整、書籍の購入等							
工程表の政策目標（指標）	－							
<b>事業内容の説明</b>								
<b>1 事業の目的・概要</b>								
職場及び通学中において気軽に本に触れられる機会を提供することにより、家庭での読書を習慣づける契機とする。								
<b>2 主な事業内容</b>								
区分	事業費	事業内容						
企業文庫支援事業	616	家庭での読書を支援するため、家庭教育推進協力企業と連携して企業文庫を整備する。 ○東中西部地区の家庭教育推進協力企業に対して、絵本や児童書、ベストセラー本50冊～100冊を1セットとして貸出す。（3地域3企業の9企業でモデル的に実施） ○企業は事業所内に貸出された本を設置し、従業員へ本を貸出す。						
本のあるまちづくり支援事業	472	若桜鉄道と連携して、駅舎に図書を整備することで、待合時間や乗車時間を利用して読書ができる環境を整備する。 ○若桜鉄道の若桜駅、丹比駅の駅舎に各100冊程度の絵本や中・高校生向けの図書、駅のイメージに合った図書コーナーを整備する。 （例）若桜駅：列車に関する図書、城に関する図書 丹比駅：寅さんに関する図書 ○駅舎の本は、列車内に持ち込み、下車時に返却可能。						
<b>3 これまでの取組状況、改善点</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>企業文庫支援事業については、9企業実施予定であったが、現在5企業で実施中である。今後、さらに企業への説明を行い、順次企業文庫を設置していく。</li> <li>若桜鉄道駅舎への図書の配架については、10月下旬に設置が完了した。今後の駅舎文庫の利用状況を見ながら、より良い運営方法や管理方法を検討し、さらに利用しやすいものとする。</li> </ul>								